

I 学校の概要・目標及び計画

(1) 建学の精神

「美しい心と技術の調和」

(2) 教育目標

1. 教養高く、知識、技能に優れ、次の世代を担う社会人としての美容技術者の養成
2. 科学的知識に加えて、自らの創意工夫により技術や感覚を養う能力の育成
3. お互いに尊重しながら、同じ目標に向かって努力する力の育成

(3) 校訓

こころ (Heart)、技 (Hand)、知 (Head) の 3H の法則

1. 心: 「ホスピタリティマインド、コミュニケーション能力、チームワーク」のある真心の育成。
2. 技: 「美しく、可愛く、華やか」を「正確、スピーディー」に表現できる技術と所作の育成。
3. 知: 「専門知識、教養、ビジネス能力」のある知識の育成。

3H (心・技・知) をバランスよく大きく育成していくことで、社会に貢献できる有用な人材になれるという法則です。

(4) 理事長及び校長名、所在地、連絡先等

学校法人群馬県美容学園 理事長 松本 一郎

群馬県美容専門学校 学校長 住谷 知彦

〒371-0006 群馬県前橋市石関町 136-1

[TEL:027-230-2266](tel:027-230-2266) FAX:027-230-2267

E-Mail:gunbi@gunbi.ac.jp

[URL:http://www.gunbi.ac.jp/](http://www.gunbi.ac.jp/)

(5) 学園、学校の沿革

昭和 29 年 財団法人 群馬県高等美容学校設立認可

昭和 33 年 財団法人 群馬県高等美容学校設立認可

各種学校群馬県知事認可

財団法人 群馬県高等美容学校厚生大臣指定認可

【定員 昼間 100 名 通信 200 名】

昭和 42 年 財団法人 群馬県高等美容学校厚生大臣定員指定

【定員 昼間 200 名 通信 400 名】

昭和 56 年 財団法人 群馬県美容高等専修学校設置 群馬県知事認可

- 【定員 美容高等課程 200 名 別科 400 名】
- 平成 9 年 学校法人群馬県美容学園設立
- 平成 10 年 群馬県美容専門学校 群馬県知事認可
- 【定員 美容専門課程 400 名 別科 240 名】
- 厚生大臣指定養成課程及び定員指定
- 【定員 昼間課程 400 名 通信課程 240 名】
- 平成 11 年 現在地に新校舎移転
- 平成 20 年 群馬県美容専門学校 新学科設置
- トータルビューティー科 【定員 女子 120 名】
- 新学科設置に伴い校舎およびホール増設
- 平成 22 年 群馬ブライダルビジネス専門学校 群馬県知事認可
- ブライダルスペシャリスト学科設置 【定員 商業実務専門課程 80 名】
- 平成 23 年 群馬県美容専門学校 新学科設置
- ビューティースタylist学科 【定員 男女 60 名】
- エステティック学科 【定員 女子 60 名】
- 平成 28 年 群馬県美容専門学校 新学科設置
- ビューティテクニカル学科 【定員 男女 40 名】

II 各学科等の教育

(1) 学科名、入学定員数、入学者数、在学総数

H28. 5. 1 現在

学科名	コース名	入学定員	入学者数	在学総数
美容師学科	—	160 名	98 名	200 名
エステティック学科	—	30 名	9 名	15 名
ビューティー スタイリスト学科	・ウェディングスタイリスト ・メイクアップ&コスメティッ クアドバイザー ・マニキュアリスト	30 名	21 名	36 名

(2) 各学科概要等

各学科の概要につきましては、ホームページのコース紹介や学校パンフレットに記載しておりますので、そちらをご確認くださいませ。

群馬県美容専門学校ホームページ (<http://www.gunbi.ac.jp/top.html>)

(3) 各学科カリキュラム

【美容師学科】

教科課目	1年次		2年次		総授業時数	総単位数	週授業時数	
	授業時数	単位数	授業時数	単位数			1年次	2年次
必修課目								
関係法規・制度			30	1	30	1		1
衛生管理	30	1	60	2	90	3	1	2
美容保健	120	4			120	4	4	
美容の物理・化学	60	2	30	1	90	3	2	1
美容文化論	30	1	60	2	90	3	1	2
美容技術理論	60	2	60	2	120	4	2	2
美容運営管理	60	2			60	2	2	
美容実習	540	18	270	9	810	27	18	9
小計	900	30	510	17	1410	47	30	17

教科課目	1年次		2年次		総授業時数	総単位数	週授業時数	
	授業時数	単位数	授業時数	単位数			1年次	2年次
選択必修課目								
色彩	30	1			30	1	1	
教養・芸術	30	1	60	2	90	3	1	2
トータルビューティアー	90	3	390	13	480	16	3	13
小計	150	5	450	15	600	20	5	15
総計	1050	35	960	32	2010	67	35	32

【エステティック学科】

	授業科目	1年次		2年次		総授業時数	総単位数
		授業時数	単位数	授業時数	単位数		
専門科目	ウェルネス理論Ⅰ	35	2			35	2
	ウェルネス理論Ⅱ			40	2	40	2
	ヒューマンボディ関係論Ⅰ	60	4			60	4
	ヒューマンボディ関係論Ⅱ			60	4	60	4
	インナービューティアー関係論Ⅰ	60	4			60	4
	インナービューティアー関係論Ⅱ			40	2	40	2
	コスメディカル理論Ⅰ	50	3			50	3
	コスメディカル理論Ⅱ			50	3	50	3
	ビューティアービジネス理論Ⅰ	50	3			50	3
	ビューティアービジネス理論Ⅱ			50	3	50	3
	ソシオエステティック理論			30	2	30	2
	シデスコ理論			40	2	40	2
	メーキャップ技術理論Ⅰ	20	1			20	1
ネイル技術理論Ⅰ	20	1			20	1	

	アロマセラピー I	30	2			30	2
	アロマセラピー II			30	2	30	2
	フィットセラピー	40	2			40	2
	小 計	365	22	340	20	705	42
教養科目	秘書実務 I	60	4			60	4
	秘書実務 II			60	4	60	4
	ホスピタリティ論	30	2			30	2
	パーソナルカラーコーディネート I	45	3			45	3
	小 計	135	9	60	4	195	13
実習科目	フェイシャルエステティック I	110	3			110	3
	フェイシャルエステティック II			90	3	90	3
	ボディエステティック I	100	3			100	3
	ボディエステティック II			80	2	80	2
	ホリスティック&脱毛 I	30	1			30	1
	ホリスティック&脱毛 II			30	1	30	1
	リンパドレナージュ			30	1	30	1
	ソシオエステティック			30	1	30	1
	シデスコ	30	1			30	1
	TEA 技能検定対策			30	1	30	1
	ベーシックメーキャップ I	40	1			40	1
	ベーシックネイル I	80	2			80	2
	リフレクソロジー			30	1	30	1
	ホットストーン			30	1	30	1
	トータルエステティック			60	2	60	2
	小 計	390	11	410	13	800	24
総 計	890	42	810	37	1700	79	

【ビューティースタ일리スト学科 ウェディングスタイリストコース】

	授業科目	1年次		2年次		総授業 時数	総単 位数
		授業時数	単位数	授業時数	単位数		
専門科目	ブライダルコーディネーター実務理論			30	2	30	2
	フォーマルファッションコーディネート			30	2	30	2
	きもの文化論	30	2			30	2
	メーキャップ技術理論 I	20	1			20	1
	メーキャップ技術理論 II			20	1	20	1
	メイクセラピー I	20	1			20	1
	フェイシャルエステティック理	30	2			30	2

	論						
	ネイル技術理論Ⅰ	20	1			20	1
	小計	120	7	80	5	200	12
教養科目	秘書実務Ⅰ	60	4			60	4
	秘書実務Ⅱ			60	4	60	4
	ホスピタリティ論	30	2			30	2
	パーソナルカラーコーディネーターⅠ	45	3			45	3
	ファッション関係論	45	3	30	2	75	5
	小計	180	12	90	6	270	18
実習科目	ブライダルファッションコーディネーターⅠ	80	2			80	2
	ブライダルファッションコーディネーターⅡ			130	4	130	4
	和装着物着付けⅠ	80	2			80	2
	和装着物着付けⅡ			130	4	130	4
	ブライダルビューティーコーディネーターⅠ	130	4			130	4
	ブライダルビューティーコーディネーターⅡ			240	8	240	8
	ベーシックメークアップⅠ	40	1			40	1
	ベーシックネイルⅠ	80	2			80	2
	フェイシャルエステティック	60	2			60	2
	トータルコーディネーターⅠ	100	3			100	3
	トータルコーディネーターⅡ			160	5	160	5
	小計	570	16	660	21	1230	37
	総計	870	35	830	32	1700	67

【ビューティースタ일리スト学科 メイクアップ&コスメティックアドバイザーコース】

	授業科目	1年次		2年次		総授業 時数	総単 位数
		授業時数	単位数	授業時数	単位数		
専門科目	メークアップ技術理論Ⅰ	20	1			20	1
	メークアップ技術理論Ⅱ			20	1	20	1
	コスメティック化学	30	2			30	2
	メークアップ文化論			20	1	20	1
	メイクセラピーⅠ	20	1			20	1
	メイクセラピーⅡ			30	2	30	2
	フェイシャルエステティック理論	30	2			30	2

	ネイル技術理論Ⅰ	20	1			20	1
	フォーマルファッションコーディネート			30	2	30	2
	小計	120	7	100	6	220	13
教養科目	秘書実務Ⅰ	60	4			60	4
	秘書実務Ⅱ			60	4	60	4
	ホスピタリティ論	30	2			30	2
	パーソナルカラーコーディネートⅠ	45	3			45	3
	ファッション関係論	45	3	30	2	75	5
	小計	180	12	90	6	270	18
実習科目	ベーシックメーキャップⅠ	40	1			40	1
	ベーシックメーキャップⅡ	40	1			40	1
	アーティスティックメーキャップⅠ	130	4			130	4
	アーティスティックメーキャップⅡ			300	10	300	10
	セレモニーメーキャップⅠ	90	3			90	3
	セレモニーメーキャップⅡ			120	4	120	4
	フォトセッション			60	2	60	2
	ベーシックネイルⅠ	80	2			80	2
	フェイシャルエステティック	60	2			60	2
	和装着物着付けⅠ	30	1			30	1
	トータルコーディネートⅠ	100	3			100	3
	トータルコーディネートⅡ			160	5	160	5
	小計	570	17	640	21	1210	38
	総計	870	36	830	33	1700	69

【ビューティースタylist学科 マニキュアリストコース】

	授業科目	1年次		2年次		総授業 時数	総単 位数
		授業時数	単位数	授業時数	単位数		
専門科目	ネイル技術理論Ⅰ	20	1			20	1
	ネイル技術理論Ⅱ			20	1	20	1
	ネイルケア理論	20	1			20	1
	メーキャップ技術理論Ⅰ	20	1			20	1
	フェイシャルエステティック理論	30	2			30	2
	フォーマルファッションコーディネート			30	2	30	2
	小計	90	5	50	3	140	8
教養	秘書実務Ⅰ	60	4			60	4
	秘書実務Ⅱ			60	4	60	4

	ホスピタリティ論	30	2			30	2
	パーソナルカラーコーディネートⅠ	45	3			45	3
	ファッション関係論	45	3	30	2	75	5
	小計	180	12	90	6	270	18
実習科目	ベーシックネイルⅠ	80	2			80	2
	ベーシックネイルⅡ	80	2			80	2
	ベーシックネイルⅢ			90	3	90	3
	エクステンションネイルⅠ	100	3			100	3
	エクステンションネイルⅡ			300	10	300	10
	ジェルネイルⅠ	100	3			100	3
	ジェルネイルⅡ			150	5	150	5
	ベーシックメーキャップⅠ	40	1			40	1
	フェイシャルエステティック	60	2			60	2
	和装着物着付けⅠ	30	1			30	1
	トータルコーディネートⅠ	100	3			100	3
	トータルコーディネートⅡ			160	5	160	5
	小計	590	17	700	23	1290	40
総計	860	34	840	32	1700	66	

(4) 進級及び卒業要件

【学修評価方法】

学修の評価は、科目により試験得点による評価や実習の成果、レポート内容・提出状況、受講態度等を総合的に勘案し5段階の成績評価とし、C評価以上を合格とする。

S：特に優秀な成績・・・100～90点

A：すぐれた成績・・・89～80点

B：一応その科目の要求を満たす成績・・・79～70点

C：合格と認められる最低の成績・・・69～60点

F：不合格・・・59点以下

全学科とも試験は、以下のとおりとする。

1年次 前期：期末試験 後期：進級試験

2年次 前期：期末試験 後期：卒業試験

【進級・卒業要件】

進級時・・・1年次に定められた授業科目を履修し、単位を修得したもの。また、1年次に納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。

卒業時・・・2年次以上在学し、学科ごとに定める授業科目を履修し、美容師学科においては67単位、ビューティースタylist学科においてはウェディングstylistコース67単位以上、メイクアップ&コスメティックアドバイザーコース69単位以上、マニキュアリストコース66単位以上、エステティック学科においては79単位以上を修

得したもの。また、納入すべき授業料その他の金額をすべて納入しているもの。

(5) 取得資格

学科名	コース名	資格・検定
美容師学科	—	美容師免許、メイクアップ検定 3・2 級、ネイリスト技能検定 3 級、ジェルネイル検定初級※、ネイルサロン衛生管理士、認定フェイシャルエステティシャン※、SBS 着付け 2 級※、アイデザイナー※、ビジネス能力検定、きもの文化検定、パーソナルカバリスト検定 3 級、ホスピタリティ検定
エステティック学科	—	メイクアップ検定 3 級、ネイリスト技能検定 3 級、ネイルサロン衛生管理士、CIDESCO インターナショナル・エステティシャン、認定トータルエステティックアドバイザー、Ajesth 認定上級エステティシャン、認定エステティシャン、認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン、日本エステティックセンター試験、アロマセラピー検定 2.1 級、アロマセラピーアドバイザー、秘書検定 3.2 級、パーソナルカバリスト検定 3 級、ホスピタリティ検定
ビューティー スタイリスト学科	ウェディングスタイリストコース	メイクアップ検定 3・2 級、メイクセラピー検定 3 級、ネイリスト技能検定 3 級、ジェルネイル検定初級、ネイルサロン衛生管理士、認定フェイシャルエステティシャン、アシスタントブライダルコーディネーター、フォーマルスペシャリスト検定準 2 級、きもの文化検定、秘書検定 3.2 級、ファッション販売能力検定、パーソナルカバリスト検定 3 級、ホスピタリティ検定
	メイクアップ&コスメティックアドバイザーコース	メイクアップ検定 3・2・1 級、メイクセラピー検定 3・2 級、ネイリスト技能検定 3 級、ネイルサロン衛生管理士、認定フェイシャルエステティシャン、フォーマルスペシャリスト検定準 2 級、秘書検定 3.2 級、ファッション販売能力検定、パーソナルカバリスト検定 3 級、ホスピタリティ検定
	マニキュアリストコース	メイクアップ検定 3 級、ネイリスト技能検定 3・2・1 級、ジェルネイル検定初級・中級・上級、ネイルサロン衛生管理士、認定フェイシャルエステティシャン、フォーマルスペシャリスト検定準 2 級、秘書検定 3.2 級、ファッション販売能力検定、パーソナルカバリスト検定 3 級、ホスピタリティ検定

※は課外授業にて取得可能資格です。

(6) 卒業者数、卒業後の進路

【平成 27 年度卒業生実績】

学科名	コース名	卒業者数	就職者数	進学者数	就職進学率
美容師学科	—	89 名	83 名	0 名	93.3%
エステティック学科	—	12 名	9 名	0 名	75%
ビューティー スタイリスト学科	・ウェディングスタイリスト ・メイクアップ&コスメティックア ドバイザー ・マニキュアリスト	19 名	12 名	6 名	94.7%

主な就職先については、ホームページや学校パンフレットに記載しておりますので、そちらをご覧ください。

群馬県美容専門学校ホームページ (<http://www.gunbi.ac.jp/school-jobdata.html>)

III 教職員

学科名	学校長	事務局 局長	広報 部長	広報 課長	広報等 職員	事務員	教務 部長	教務 課長	教員 (専任)	教員 (兼任)
美容師学科	1 名	1 名	1 名	1 名	2 名	2 名	1 名	2 名	6 名	22 名
エステティック 学科							1 名	0 名	1 名	
ビューティース タイリスト学科							1 名	1 名	3 名	
合 計	1 名	1 名	1 名	1 名	2 名	2 名	3 名	3 名	10 名	22 名

IV キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育への取組状況

1. 個別指導

就職担当者と担任により学生一人ひとりと納得できるまで話し合い、将来の方向性を定めていきます。その希望をもとに、各種美容関係企業についての研究や就職に対するサポートを個別に実施していきます。

2. 就職対策セミナー

本校のキャリア・サポーターや企業との連携により業界の形態や動向、求められる人材などの情報のレクチャーや、就職活動の流れ、履歴書・エントリーシート作成指導、就職後に必要な技術やマナーなどのアドバイスを行います。

3. インターンシップ

本校では1年次、2年次にインターンシップを実施しています。業界の仕事を肌で感じ将来の職業に対する理解を深めます。

(2) 実習・実技等の取組状況

本校では、以下の企業と教育連携を行い、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的に指導を行っております。

<教育連携企業一覧>

授業科目名	連携企業名	対象学科
実務実習 (インターンシップ)	群馬県美容業生活衛生同業組合	美容師学科
アクティブラーニング (就職セミナー)	一般社団法人 一生美容に恋する会	美容師学科 エステティック学科 ビューティースタylist学科

(3) 就職支援等の取組状況

1. 就職ガイダンス

美容サロンや美容関連業種の担当者に来校してもらい、会社概要や募集の詳細などを説明してもらいガイダンスを年間5回実施しています。毎回多数の企業様に来校していただいています。

2. 就職情報の閲覧環境整備

求人票やガイダンス情報、企業パンフレット等の専用スペースを設け、常時閲覧できる環境を整えております。

V様々な教育活動・教育環境

(1) 学校行事への取組状況

4月	入学式 健康診断
5月	運動会 就職ガイダンス サスーンカットコンテスト校内予選 インターンシップ (エステティック学科、ビューティースタylist学科)
6月	避難訓練 海外研修 (ハワイ)
7月	就職ガイダンス 全国理美容技術大会関東大会
8月	夏休み 実務実習 (美容師学科)
9月	就職ガイダンス サスーンカットコンテスト全国大会 kawaii 選手権大会 エステティックコンテスト
10月	学園祭 ネイルエキスポ 技能五輪予選
11月	ヘアショー 就職ガイダンス 全国理美容技術大会
12月	海外研修 (ロンドン、ロサンゼルス) 実務実習 (美容師学科)
1月	
2月	美容師国家試験 (実技) 就職ガイダンス
3月	美容師国家試験 (筆記) 卒業式

(2) 課外活動等の状況

5月	スマーク伊勢崎 キッズファッションショー ヘアスタイリング
7月	前橋市主催 前橋合同学園祭 ヘアショー公演、ネイル施術等
8月	公益財団法人群馬県長寿づくり財団 エステ、メイク、ネイル施術
9月	社会福祉法人・特別養護老人ホーム サンライフ問屋町 エステ、メイク、ネイル施術

VI 学生の生活支援

(1) 学生支援への取組状況

1. 就職に関する支援

- ・担任と広報・キャリア部によるサポート体制
- ・インターンシップを実施
- ・就職ガイダンスを実施

2. その他の支援

- ・学費など経済的な支援体制として奨学金貸与機関の斡旋
- ・年1回、健康診断を実施
- ・アルバイト求人を公開

VII 学生納付金及び修学支援

(1) 学生納付金の取扱

美容師学科

	入学金	授業料	実習・研修費	施設設備費	教材費・諸費	合計
1年次	100,000円	480,000円	130,000円	280,000円	365,000円	1,355,000円
2年次		480,000円	130,000円	280,000円	210,000円	1,100,000円

エステティック学科

	入学金	授業料	実習・研修費	施設設備費	教材費・諸費	合計
1年次	100,000円	480,000円	110,000円	280,000円	435,000円	1,405,000円
2年次		480,000円	110,000円	280,000円	180,000円	1,050,000円

ビューティースタylist学科

①メイクアップ&コスメティックアドバイザーコース②マニキュアリストコース③ウェディングスタイリストコース

	入学金	授業料	実習・研修費	施設設備費	教材費・諸費	合計
1年次①	100,000円	480,000円	110,000円	280,000円	363,000円	1,333,000円
1年次②	100,000円	480,000円	110,000円	280,000円	439,000円	1,409,000円
1年次③	100,000円	480,000円	110,000円	280,000円	388,000円	1,358,000円
2年次①		480,000円	110,000円	280,000円	195,000円	1,065,000円
2年次②		480,000円	110,000円	280,000円	173,000円	1,043,000円
2年次③		480,000円	110,000円	280,000円	170,000円	1,040,000円

(2) 修学支援の内容

1. 表彰制度

最優秀学生賞、優秀学生賞、理事長賞、副理事長賞、各協会賞など卒業生対象に表彰しています。

2. 新幹線通学支援制度

本校が定める遠隔地から通学した場合、定期代を一定料金補助する制度です。

3. 家賃支援制度

本校が定める遠隔地から通学が困難と認められた場合、家賃の一部を補助する制度です。

資金収支計算書

平成27年4月 1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

収入の部	
科目	決算
学生生徒等納付金収入	308,646,221
手数料収入	6,938,400
寄付金収入	0
補助金収入	9,604,700
資産運用収入	4,519,042
資産売却収入	0
事業収入	1,715,532
雑収入	3,056,499
借入金収入	0
前受金収入	157,820,428
その他の収入	141,471,756
資金収入調整勘定	△ 189,192,228
前年度繰越支払資金	563,136,668
収入の部合計	1,007,717,018

支出の部	
科目	決算
人件費支出	162,638,868
経費支出	102,302,027
借入金等利息支出	0
借入金等返済支出	0
施設関係支出	37,429,560
設備関係支出	27,338,099
資産運用支出	0
その他の支出	136,082,877
資金支出調整勘定	△ 2,277,803
次年度繰越支払資金	544,203,390
支出の部合計	1,007,717,018

消費収支計算書

平成27年4月 1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

収入の部	
科目	決算
学生生徒等納付金	308,646,221
手数料	6,938,400
寄付金	0
補助金	9,604,700
資産運用収入	4,519,042
資産売却差額	0
事業収入	1,715,532
雑収入	3,056,499
帰属収入合計	334,480,394
基本金組入額合計	△ 64,767,659
消費収入の部合計	269,712,735

支出の部	
科目	決算
人件費	162,638,868
経費	176,857,303
借入金等利息	0
資産処分差額	0
徴収不能額	0
消費支出の部合計	339,496,171
当年度消費収入超過額	△ 69,783,436
前年度繰越消費支出超過額	△ 317,090,323
年度消費支出繰入金準備額	0
年度消費支出準備金取崩額	0
基本金取崩額	0
翌年度繰越消費収入超過額	△ 386,873,759

貸借対照表

平成28年3月31日

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	2,151,538,046	固定負債	0
流動資産	558,148,914	流動負債	242,292,581
資産の部合計	2,709,686,960	負債の部合計	242,292,581
		基本金の部	
		第1号基本金	2,854,268,138
		第2号基本金	0
		第3号基本金	0
		第4号基本金	0
		基本金の部合計	2,854,268,138
		消費収支差額の部	
		年度消費支出準備金	0
		翌年度繰越消費収入超過額	△ 386,873,759
		消費収支差額の部合計	△ 386,873,759
		負債の部,基本金の部および消費収支差額の部合計	2,709,686,960

平成 27 年度
自己点検・自己評価結果報告書

評価対象期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

評価委員会日 平成 28 年 7 月 27 日

学校法人群馬県美容学園

群馬県美容専門学校

I. 平成 27 年度に定めた重点的に取り組むことが必要な

目標や計画についての評価 報告

1. 国家試験や各検定の合格率の維持・向上を図る

国家試験や各検定では全国平均を上回る高水準を維持しているが、さらなる向上を目指す為に試験対策授業の強化に取り組む。

2. 入学者数の拡大を図る

学生支援を充実させることで競合校との差別化を図ることや、体験入学・進路ガイダンス・模擬授業の講師派遣・メディアを活用した情報発信など、広報活動の強化をし、入学者数の拡大を図る。

3. 就職率（進路決定率）の維持・向上を図る

就職セミナーや就職ガイダンスを実施することで、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育成する。

4. 退学者・休学者の低減を図る

退学者・休学者の増加は広報活動や財務基盤に影響を与える恐れのある重大な問題である。よって、該当学生への個別対応力強化（保護者との連絡強化、面談回数の増加、学校全体としての対応）、勉学意欲の維持、指導法の改善などの対策を講じて、退学者・休学者の低減に努める。

5. 地域貢献に努める

地域社会貢献の為にボランティア活動に積極的に参加する他、生涯学習にも目を向け生涯学習社会の実現に貢献するため教育訓練指定講座や職業実践専門課程認定へ向け準備を進める。

1. 国家試験や各検定の合格率の維持・向上を図る

【美容師学科】

■取り組みについて

- ・定められた技能を身につけられるよう、クラス編成を行い、習熟度を図りながら取り組んだ。(美容師試験)
- ・美容師実技試験を想定した、衛生面・技術を繰り返し行い指導した。
- ・資格、検定の過去の結果を検証し、さらなる向上を目指し継続的に取り組ませた。(メイク・ネイル検定等)

■達成状況

- ・美容師試験では、免許取得に向けた目標の意識付けを行い、技術向上する事が出来、筆記試験では多くの問題に取り組ませたことで、苦手意識をなくす事が出来た。その結果、96.6%の合格率を達成することが出来た。
- ・メイク検定では、技術だけではなく筆記対策を行い取り組んだ。
- ・ネイル検定では、希望受験であったが、資格取得に向け全員が取り組み授業へのモチベーションも上がり、合格に向けた意識向上が出来た。今後への意欲に繋がった。

■反省点

- ・美容師実技試験では、クラス編成を検証しさらに細分化した対応をするべきだった。
- ・美容師筆記試験では、講師と意見を交換しながら試験前対策を強化するべきだった。
- ・資格取得に対する意識向上、取り組みの促しが足りなかった。

■来年への改善点

- ・基礎学力の向上、資格取得の意欲維持に取り組み、合格率の上昇を目指す。
- ・実技試験等シュミュレーションを行い、指導の徹底に努める。
- ・検定結果を検証し、カリキュラムの見直しを行い対応する。

【エステティック学科】

■取り組みについて

- ・エステティック学科全教員による「CIDESCO」試験対策を話し合い、合格のガイドライン・試験傾向など情報の共有化をはかった。
- ・「CIDESCO 認定校・教員対象講習会」に参加し、指導力の向上に努めた。講習内容についてはエステティック学科全教員の共有事項とすることで理論・実技とも細心の指導につながった。

■達成状況は

- ・CIDESCO 試験においては前回試験より合格率が上がり、CIDESCO 本認定校許可を得られた。

■反省点

- ・検定によっては全員受験とはならなかった。

■来年への改善点

- ・学生指導として、各検定とも取得に対しての重要性と意識改革を行い、全員受験・全員合格を目指す。
- ・100%の合格率の維持。

【ビューティスタイリスト学科】

■取り組みについて

- ・各コース、基礎技術の徹底、さまざまな検定の合格しやすい特徴を分析し、リスクの少ない方法、テクニックを導き、下級のレベルでも油断せず、着実に取得していこうと授業の中で、意識をあげるよう努めた。
- ・授業で行われている科目が、将来、いろいろな形で関連してくることを説明し、理論的な関心がない科目も興味をもつよう努めた。

■達成状況

- ・ネイルコースでは全員が2級、1級も半分以上の合格を達成できたことは、概ね良好な結果であるとともに、1年生もすでに2級が全員取得できているため、1級取得に向けて足並みがそろった状況
- ・コスメ・ウエディングにおいても、メイク検定、ブライダル関連の検定を取得、社会で活かす知識、技能の習得に努めた。
- ・実技検定では安定した結果がでていたが、知識、教養関連の検定では、不合格者が多く出てしまった。

■反省点

- ・全コース共通であるが、モデル選びに関して、友達関係等がギクシャクしてしまう場面があり、気持ち下がってしまうところが見受けられた。
- ・学生の理解度を把握できていなかった。
- ・モチベーションの高い学生に対するフォローが行きとどかなかった。

■今後の改善策

- ・モデル選びに関して、早い段階から、コミュニケーションをもたせ、行き違いがおきないように努めていく。
- ・理解不足の学生が見受けられたら、早期に対応し周囲の学生との差が生じないように努める
- ・希望受験であっても、検定対策として、別枠で時間が取れるよう、配慮していく。

2. 入学者数の拡大を図る

【広報・キャリア部】

■取り組みについて

- ・ガイダンス参加、オープンキャンパスの開催、広報費などを増やし拡大を図った。

■達成状況

- ・前年は下回らなかったものの、費用対効果を検証するとやや低い結果となった。

■反省点

- ・アピールポイントを明確に打ち出し、その部分を効率良く発信できなかった。

■来年への改善点

- ・本校にしかないセールスポイントを改めて見出し、それをターゲットへの的確に伝達させる。

- ・WEB広告の強化、SNS関連を活用した入学者増施策の検討。

3. 就職率（進路決定率）の維持・向上を図る

【美容師学科】

■取り組みについて

- ・企業と連携しセミナー等行う事で、入学の早い段階から職業への意識を高め、目標を明確にさせた。
- ・会社説明会の参加を促し、多くの情報を得ながら、自分にあった企業・サロンを見つけられるようサポートに努めた。

■達成状況

- ・就職率※1は97.6%、主な就職先は美容室をはじめとする美容関係。
- ・県外希望者は、将来への目標に向け、早い段階で行動がとれ内定に繋がった。
- ・全体的には、しっかり将来を見据えた行動がとれ内定に繋がった。

■反省点

- ・就職セミナー後、企業から学生の職業意識について聞き取りが不十分だった。
- ・未決定者の動向調査を行い、希望方面への情報を数多く伝える必要があった。

■来年への改善点

- ・コミュニケーション能力の優れた、行動力ある学生を育成し輩出できるよう努める。
- ・インターンシップ後の調査、面談を行い、意識が低下しないよう注意する。
- ・企業からのアドバイスを元に相談し、より質の高いセミナー内容に改善し、学生へ反映できるよう努める。

【エステティック学科】

■取り組みについて

- ・企業（人事担当者）と連絡をとり、本校での会社説明会を実施した。その際、校内にて一次選考を実施して頂き、選考の簡素化に努めた。
- ・企業やサロンによって、業務に特色があることを認識させ、自分の希望する企業選択が出来るようサポートにあたった。

■達成状況

- ・早期の内定に繋がった。
- ・希望する企業選択(サロン選択)が円滑に行えた。

■反省点

- ・県内、近県のサロンや企業の情報は多く得られたが、遠方の就職情報を得るのが難しい。

■来年への改善点

- ・多くの企業に来校して頂き、校内説明会を実施して頂くことで、早期内定につなげる。
- ・より広範囲の地域で、就職情報を得られよう、広報との連絡を密にする。
- ・卒業生の現状を把握する。

【ビューティスタイリスト学科】

■取り組みについて

- ・学校の求人数は、業種によりとても少ないため、担任やコース担当など、求人情報を入手し、学生への提案を行い、希望とする職種に進めるよう、選択枠を広げられるよう努め、進路決定のサポートに努めた。

■達成状況

- ・就職率※1は100%、主な就職先は美容系ブライダルサロン、写真館、化粧品メーカー、百貨店、ネイルサロン、アパレル関係。
- ・コースにより、内定時期に、だいぶばらつきがあったが、最終的には就職希望の学生は全員内定が決定した。(100%)

■反省点

- ・就職に積極的な学生にどうしてもかかわる時間が多くなり、社会にでていくことに不安をもつ学生や、消極的な学生に対してのサポート体制がうまくいかなかった。

■来年への改善点

- ・コースにより、就職活動を始める時期はおくれがちのため、担任だけではなく、他のコース担当、サポートセンターとも情報を収集し、協力しながら、幅広い提案が学生へできるよう早めに対処していきたい。

【広報・キャリア部】

■取り組みについて

- ・サロン、企業とのコミュニケーションを強化。
- ・就職ガイダンスを年間5回実施。

■達成状況

- ・求人票、求人数が多かったのを理由に戦略性に欠け、前年度を上回れなかった。

■反省点

- ・各教員とのコミュニケーション（情報交換）不足。
- ・業界ニーズなど情報収集力が足りなかった。

■来年への改善点

- ・学生のモチベーションを上げさせるため、就職セミナー、キャリアセミナー等の実施
- ・求人票閲覧システムの構築。

※1 「就職率」については、就職希望者にしめる就職者の割合とする。

4. 退学者・休学者の低減を図る

【美容師学科】

■取り組みについて

- ・技能習得の喜びを通し、学習意欲の向上を低減させないよう努めた。
- ・行事、クラス活動を通し、目標に向けた団結力向上に努めた。

■達成状況

- ・多くの退学者を出してしまった。主な理由は進路変更や経済的理由。

■反省点

- ・入学の早い段階に面談を設け、学生個々の状況を把握し、学科全体の共有認識にするべきだった。

■来年への改善点

- ・学生個々の状況に応じて、適切に対応できるよう体制を整える。
- ・職業への意識を明確にさせ、学習意欲の維持向上に努める。
- ・技術向上・接客への喜びなど達成感を感じ取れるカリキュラムの見直し。
- ・学科全体で、退学者ゼロを目指す。

【エステティック学科】

■自分の部門としてどのように取り組んだか

- ・近年、メンタルの問題で学校生活に不安を抱き、その事が原因となり、学習意欲の低下に繋がることが多い。適時面接を行い、学生の現状(家庭環境・生活スタイル・友人関係など)を把握し、問題点がある場合は早期に対応にあたるように取り組む。
- ・保護者との連絡を密に行い、指導に対する理解を仰ぎ、家庭との協力を依頼する。
- ・「助け合い、思いやり」のある、クラス運営を行う。

■達成状況はどうだったか

- ・退学率は5%程度に抑えることが出来た。退学の主な理由は病気による勉学継続不可能の為。

■反省点

退学者ゼロを目指し細心の学生指導にあたる。

■来年への改善点

- ・学生間の繋がりを大切にする。
- ・退学者ゼロを目指し、細心の学生指導にあたる。

【ビューティスタイリスト学科】

■取り組みについて

- ・高校から提出された出席状況がよくない学生など、あらかじめ把握し、教員全員で情報を共有し、面談、保護者への連絡、聞き取りなどをこまめに行うよう努めた。

■達成状況

- ・退学率は2%程度に抑えることが出来た。退学の主な理由は進路変更。

■反省点

- ・新しい友達を構築できていない状況下での行き違いなど、入学後、全体が不安定な環境下での把握が遅れてしまった。

■来年への改善点

- ・入学前に何か不安要素(欠席状況等)がある学生については、いち早く面談し、どのような学生なのかをなるべく早く理解するよう努め、保護者と連絡ととりながら、引き続き早い対処をしていく。

5. 地域貢献に努める

【美容師学科】

■取り組みについて

- ・地域活動を通じ、社会と密接である事を認識させた。
- ・団体からの講座依頼があった場合、開催することで美容以外にも関心を持たせた。

■達成状況

- ・地域活動を通じ、コミュニケーション能力・技術向上へ努めた。
- ・日頃の技術を実践することで、喜びを感じ取れた。

■反省点

- ・地域活動終了後の、調査等が不十分だった。

■来年への改善点

- ・活動を通じ、職業への理解が深められる機会を継続的に設けられるよう努める。
- ・積極的に活動に取り組めるよう、評価方法・単位取得など、今後の改善に努める。
- ・講座（健康面・被害予防等）など多くを開催し、美容以外にも関心を持たせる。

【エステティック学科】

■自分の部門としてどのように取り組んだか

- ・積極的にボランティア活動をおこなった。
- ・介護現場・医療現場で求められるエステティック技術(ソシオエステティック)の理解と周知に努める

■達成状況はどうだったか

- ・施設の方々、入居者の方々に喜んで頂くことが出来た。
- ・自分の仕事が社会的に求められていることを実感することで、ボランティアへの士気が高まり、学習意欲も高かった。

■反省点

- ・日程が重なり、活動の出来ない施設があった。

■来年への改善点

- ・施術内容の充実を図る。多岐にわたり技術提供が出来るように心がける。
- ・更に積極的に参加出来るよう促す。
- ・ソシオエステティックの更なる啓蒙活動に努める。

【ビューティスタイリスト学科】

■取り組みについて

- ・ボランティア活動への積極的な促しを担任以外のコース担当からも勧め、意識を高めた。

■達成状況

- ・特定のコースの参加にとどまってしまうが、反響もよく、参加することができた。

■反省点

- ・コース限定で話を進めていた部分があり、偏った参加になってしまう傾向がみられた。

■来年への改善点

- ・自分の貢献できることを幅広く考え、コースに限らず、積極的に参加させるよう促していきたい。

【広報・キャリア部】

■取り組みについて

- ・ボランティア活動として、例年実施しているものに関しては、年間行事の1つと捉え、積極的に参加している。

■達成状況

- ・前年同様、年間で、自治体（前橋合同学園祭）1回、団体（群馬県長寿づくり財団）1回、企業（スマーク伊勢崎）1回、計3回実施。

■反省点

- ・特に自治体との連携を多くし、メディア露出させて、本校のブランド力を上げるための施策が実施できなかった。
- ・各学科、隔たり無く、実施できるようにしたかった。

■来年への改善点

- ・オファーを待つだけでなく、逆にアプローチしていく。
- ・高等学校との連携による授業展開やガイダンス等の実施。

Ⅱ. 平成 27 年度 評価項目の達成及び取組状況 報告

1 教育理念・目標

【美容師学科】

①課題

- ・学生個々が勉学に意欲的に取り組むことができ、豊かな人間性を備えた人材育成が出来ているか。
- ・業界の動向やニーズに向けた調査をし、キャリア教育が実践できているか。
- ・保護者へ、学校教育の理解を深めてもらえているか。

②今後の改善方策

- ・業界の動向やニーズを発信し、企業との連携を含めた職業教育を実践していく。

【エステティック学科】

①課題

- ・HP/SNS・パンフレット・学生便覧などによる「教育理念」の発信はしているが、理解を得られているかに関しては認識が不足している。

②今後の改善方策

- ・「教育理念」の周知と理解のため、HP/SNSなどを活用し、学生・保護者に向けた発信を常に行う。
- ・在校生の父兄には授業参観、実習時のモデルなど、学生の学内生活や技術成果を開示する機会を多く持ち、学校理念の理解を仰ぐ。
- ・業界の動向やニーズを発信し、企業との連携を含めた職業教育を実践していく。

【ビューティスタイリスト学科】

①課題

- ・理念、目的、育成人材像などの保護者への周知について、説明会参加者以外の保護者に対しては、学生本人の伝達やパンフレット、HPなどで理解されていると認識するにとどまる。
- ・業界の動向やニーズの調査はしているが、まだ不十分な面がある。

②今後の改善方策

- ・パンフレット、HP及びイベント等の機会での周知努力を引き続き行う。
- ・業界の関係者やセミナーなどに積極的に参加し、情報収集に努める。

2 学校運営

【美容師学科】

①課題

- ・学生や保護者からの問い合わせ・対応について、学科全体で同一に対応できているか。

②今後の改善方策

- ・報告、連絡、相談の徹底。
- ・学科全体を教員が把握・統一認識をすることで、学生個々への対応の相違をなくすよう努める。

【エステティック学科】

①課題

・会議決定事項など、より敏速な情報の共有化を図り、教員全員の統一を強化する。

②今後の改善方策

・コンプライアンス体制の整備を行い、理解と徹底に努める。

学科内会議、学校全体会議における敏速な情報共有のため、教員全員の認識を再確認し、伝達をスムーズに行う。

【ビューティスタイリスト学科】

①課題

・アンケートなどで、学生の一部の要望などに対する検討が遅れがちである。

・大筋の学生情報は担任以外の教員もわかっているが、保護者と学生の関係や、細かい情報の把握は共有が遅れがちである。

②今後の改善方策

・全体に適切な要望か、早急に検討するよう努める。

・学生や保護者との信頼関係を構築できるよう、タイムリーで情報共有し、教員全体で真摯に対応するよう引き続き努めるようにする。

③特記事項

・利害関係等との意見の相違などについては、教員間で情報を共有し、保護者、学生との面談を増やし、相互理解を深めるよう努めている。

3 教育活動

【美容師学科】

①課題

・業界、ニーズを把握した、適正なカリキュラムになっているか。

・技術評価を、明確に反映できているか。

・企業と連携し、実践的授業を計画しているか。

②今後の改善方策

・教員の意識統一を図り、教育目標に沿った人材育成に努める。

・日々の指導を通じ、学生が将来に対する意識向上を図れるよう努める。

・教員個々が自身の職責を十分に自覚し、自己研鑽に努める。

・業界、ニーズに対応した、カリキュラムの見直し、検討を行う。

【エステティック学科】

①課題

・教員の技術力、指導力の向上をはかる。

・関連部門への情報収集を密に行い、学生指導に生かす。

・企業が求める学生像の把握を行い、カリキュラムの適合性をはかる。

②今後の改善方策

・実効性のある研修、講習に参加し個人スキルを向上させる。

・研修、講習に参加した際、学んだスキルを学校全体へフィードバックを行う。

・企業が求める学生の育成に努める。

【ビューティスタイリスト学科】

①課題

- ・シラバスは文書化になっているが、配布ではなく、授業での説明、ファイル管理に留まっている。
- ・インターンシップの評価は時間数での単位評価をしているが、職業教育の評価までにはいたっていない。
- ・アンケートの改善点のフィードバックがされていない。

②今後の改善方策

- ・シラバスについては、見やすく統一された表記を心がけ、提出にばらつきがないよう、早めに取りまとめを行い、学生への提示に努める
- ・インターンシップの評価については、近年の複雑な学生状況を踏まえ、慎重に検討していきたい。
- ・学生生活に対する考えや、授業等の話を聞く機会を積極的にとり、改善努力をしていく。

③特記事項

- ・学生の特徴や授業の関心度など、担当教員からの状況を聞きながら、柔軟なカリキュラム、シラバス作成に努めている。

4 学習成果

【美容師学科】

①課題

- ・学生の習熟度・理解度に沿った授業計画が出来ているか。
- ・卒業後の状況・活躍等、把握しているか。

②今後の改善方策

- ・学生の習熟度、理解度を把握し、レベルに応じた対応に努める。
- ・学生個々の評価（方法）が妥当であるか、外部講師と連携しカリキュラムの見直し、検討を行う。
- ・卒業生の動向調査を定期的に行えるよう努める。（情報システムを活用など）

【エステティック学科】

①課題

- ・理論・実習とも学生の理解度を適時確認し、個々に応じたサポート体制を考慮する。
- ・現状では、卒業後の定職状況をつかめにくく、離職率の把握が困難である。

②今後の改善方策

- ・エステティック学科教員全体で、学生の理解度を共有し、対策授業、サポート授業を強化する。
- ・口頭試問・グループディスカッションなど「アクティブラーニング」を主体とした授業を導入する。
- ・卒業生に向けた講習・研修の実施を立ち上げ、卒業後のサポート体制を組む

【ビューティスタイリスト学科】

①課題

- ・学生への評価基準等は授業などで伝達できているが、カリキュラム評価等を含めた記述まではいた

っていない。

②今後の改善方策

- ・目標、評価基準等、学生にしっかり提示するよう努め、方向性を見失わないよう、将来への展望を持たせる努力をしていく。また、点数での評価について、報告書作成も視野に入れ検討していく。

5 学生支援

【美容師学科】

①課題

- ・学生相談（進路、就職）に関する支援体制の検討。
- ・健康管理（精神的）支援体制の検討。

②今後の改善方策

- ・教員が学生個々のキャリア形成を把握できるよう、体制を整える。
- ・健康管理（精神的）の専門知識を持った第三者の方に対応していただけるよう体制を整え、退学者の低減を図りたい。

【エステティック学科】

①課題

- ・プレッシャーやストレスから体調不良を併発する学生が多く、メンタルケアの管理が必須となる。

②今後の改善方策

- ・専門的な視点で指示・指導する組織体制が必要となるため、常に情報収集に努め、即時対応にあたる

【ビューティスタイリスト学科】

①課題

- ・支援体制（進路・就職）については、各コースばらつきがあり、安定した支援体制までにはっていない。
- ・学生へのメンタルケアについては、近年、メンタル面の弱い学生が増加しているため、心理的ケアの出来る環境整備が求められる。

②今後の改善方策

- ・求人情報や業界の情報など、学生にも積極的にさまざまな媒体から情報収集を促し、学校側からも提案できるよう努めていく。
- ・学習障害や精神的にサポートが必要な学生に対して、治すことはできないが、専門的なサポート環境の提案や、対応方法など勉強し、少なからず力になれるよう引き続き努めていく。

③特記事項

- ・精神的に障害をもつ学生に対しては、教員全員で情報を共有し、些細な変化を見逃さないよう、慎重に対処するよう心がけています。

6 教育環境

【美容師学科】

①課題

- ・施設設備の点検は、定期的に行われており教育上の必要性を十分に備えている。安心して教育できる環境である。
- ・学外実習について十分な教育体制が整っているか。
- ・防災に対する意識を持たせられているか。

②今後の改善方策

- ・教育上必要な施設・設備等に不具合が生じた場合は早急に復旧し、学生の教育活動に支障をきたさないよう日々努力していく。
- ・学外実習先からの意見問題点を聞き、実習内容が適切か、職業の魅力を十分感じ取れているか見直しを行う。
- ・防災訓練の内容を検討し、危機管理能力を養えるよう努める。

【エステティック学科】

①課題

- ・海外研修内容の充実と参加者の増員を図る
- ・救急体制(ADE の設置場所・使用手順や応急手当)の再確認し、救急の場に遭遇した際の対応を考える

②今後の改善方策

- ・海外研修において渡航先の安全確認を十分に行う
- ・校内安全の確認と保健室の環境維持を保つ

【ビューティスタイリスト学科】

①課題

- ・海外研修に参加する学生が極端に少なくなり、貴重な経験をもつチャンスが減ってきてしまっている。
- ・地震が起きた際の避難方法

②今後の改善方策

- ・海外で学ぶ事の大切や、情報を入学の段階から伝える。
- ・建物の構造や、実習室にいる場合など、想定できる初期対応、避難方法を教員の間で確認し、学生へ伝えるようにする。

7 学生の受入れ募集

【広報・キャリア部】

①課題

- ・WEB関連の広報活動の強化。

②今後の改善方策

- ・WEB広告の出稿の検討、SNS関連の活用の対策。

③特記事項

- ・少子化で学生獲得が困難になってくる中、メディアだけでなく、直接、ターゲットへアプローチできる媒体を活用していく。

8 財務

【事務局】

①課題

- ・経営基盤は安定しているが今後も安定させるため、経費の削減に努める。
- ・情報公開について、評議員会・理事会で行われているのみであり、ホームページでの公開には至っていない。

②今後の改善方策

- ・職業実践の取得に向け、財務情報の公開をホームページまでに拡充し誰でも閲覧できるように整備していく。

9 法令等の遵守

【美容師学科】

①課題

- ・個人情報取り扱いが適切であるか。
- ・教職員として、細部に亘り、理解をしなければならない。

②改善方策

- ・自らの立場を考え、言動に気をつけ職務を遂行するよう努める。
- ・組織、人事評価などに組み入れるなど、個々が意識を高められる環境をつくる。

【エステティック学科】

①課題

- ・関係法令についてコンプライアンスは保たれている。今後も精度の高いコンプライアンスを保つよう努める。

②今後の改善方策

- ・自己点検・評価に対しての問題点の改善を行う。

【ビューティスタイリスト学科】

①課題

- ・自己点検・評価などをし、自分自身の把握、やるべきことの確認を見直す

②今後の改善方策

- ・継続的な評価を行い、学生指導に活かしていきたいと思います。

10 社会貢献・地域貢献

【美容師学科】

①課題

- ・ボランティア活動を通じ、社会と密接であることを理解しているか。
- ・地域に対する講座等開催することで、社会との関わり、防災等に役立てる。

②今後の改善方策

- ・ボランティア活動に積極的に参加できるよう促す。
- ・学生があらゆる問題に巻き込まれないよう、講座等を開き未然に防ぐ力を養えるよう努める。

【エステティック学科】

①課題

- ・社会貢献における職業意識の向上を図る
- ・介護現場・医療現場で求められるエステティック技術(ソシオエステティック)の理解と周知に努める。

②今後の改善方策

- ・計画性を持ち、多くのボランティア活動に参加し社会貢献に努める。
- ・本校で学ぶ「ソシオエステティック」の有意義性を発信する

【ビューティスタイリスト学科】

①課題

- ・特定のコースに、かたよりがちなところがある。

②今後の改善方策

- ・コースに限らず、少しでも貢献できる内容を考え、積極的に参加するよう促していく
- ・地域に密着した活動を積極的に行っていく

平成 27 年度 学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：平成 27 年 4 月 1 日
至：平成 28 年 3 月 31 日

評価実施日 平成 28 年 8 月 22 日

学校法人 群馬県美容学園
群馬県美容専門学校

I 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の実施について

本校では、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に対し、「平成27年度自己点検・自己評価」を行いました。その自己点検・評価結果について学校関係者評価委員会を開催し、外部関係者の方々に第三者の視点で評価して頂きました。学校関係者評価委員会での貴重なご意見や評価を今後の学校運営に反映させ、改善を図ることでより良い教育活動を行ってまいります。

2. 学校関係者評価委員名簿

評価委員名	所属及び役職
山形 正喜	関東地区理容師美容師養成施設協議会 会長
大塚 嘉崇	冠稲荷神社 宮の森迎賓館 ティアラグリーンパレス 権宮司
宮上 修	タカラベルモント株式会社 所長
新井 博	新井博法律事務所 弁護士
富岡 政明	有限会社富岡労務管理事務所 代表取締役
山田 浩史	社会福祉法人 清栄会 清里荘 理事・施設長

学校教職員	所属及び役職
住谷 知彦	群馬県美容専門学校・群馬ブライダルビジネス専門学校 学校長
高橋 憲一	群馬県美容専門学校・群馬ブライダルビジネス専門学校 事務局長
西山 京子	群馬県美容専門学校 教務部長 (美容師学科)
黒田 奈々	群馬県美容専門学校 教務部長 (ビューティースタylist学科)
関 孝子	群馬県美容専門学校 教務部長 (エステティック学科)
津久井 富美江	群馬ブライダルビジネス専門学校 教務部長
持田 和則	広報・キャリア 部長
長根 みちお	群馬県美容専門学校 教務課長 (美容師学科)
西 通寿	群馬県美容専門学校 教務課長 (美容師学科)
田上 聖晃	群馬県美容専門学校 教務課長
小田部 高幸	広報・キャリア 課長

3. 学校関係者評価委員会実施状況

開催日：平成28年8月22日（月）14：00～16：00

場 所：群馬県美容専門学校 ホール棟 1F 会議室

次 第

- 1) 校長挨拶
- 2) 委員紹介
- 3) 委員長選出
- 4) 自己点検評価結果の報告及び評価
(群馬県美容専門学校及びブライダルビジネス専門学校)
 - ①重点項目について
 - ②教育理念・目的
 - ③学校運営
 - ④教育活動
 - ⑤学習成果
 - ⑥学生支援
 - ⑦教育環境
 - ⑧学生の受入れ募集
 - ⑨財務
 - ⑩法令等の遵守
 - ⑪社会貢献・地域貢献
- 5) 質疑応答
- 6) 閉会

II 評価報告

1. 平成27年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①国家試験や各検定の合格率の維持・向上を図る

【委員意見・評価】

- ・学生指導について、さらに熱意をもって対応し、教員の指導力も深めてもらいたい。
- ・卒業時、数多くの検定を取得できるよう、学生の検定に対する重要性和意識改革を行い、全員受験・全員合格を念頭に指導にあたってもらいたい。

②入学者数の拡大を図る

【委員意見・評価】

- ・アピールポイントを明確に打ち出し、効率よく発信する。
- ・WEB広告の強化、SNS関連を活用した入学者増施策の検討を行い、支援策の充実に努めてもらいたい。
- ・体験入学の時期を精査し、増加を図ってもらいたい。

③就職率（進路決定率）の維持・向上を図る

【委員意見・評価】

- ・高い就職率に関しては、評価に値する。今後も維持できるように努めてもらいたい。

④退学者・休学者の低減を図る

【委員意見・評価】

- ・危機感をもって対応していると思われるが、時代の流れを掴み、魅力ある学校づくりに努め、退学者の低減を図ってもらいたい。
- ・問題惹起の場合、学習意欲の低下につながらないよう、即時面接を行い、個々の状況に合わせて細心の指導に努めて欲しい。

⑤地域貢献に努める

【委員意見・評価】

- ・社会、地域貢献については、今後も積極的に推し進めてもらいたい。
- ・多岐における美容分野での活動を心がけ、ボランティアに対する士気を高めることで、職業人としての自覚を持つよう指導してもらいたい。

2. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標

【学校関係者評価委員の意見・評価】

- ・概ね教育理念、目標に関しては理解されているが、学生・保護者等に対し、さらに周知に努めてもらいたい。
- ・業界、企業との協調体制により、実社会におけるニーズを把握し、適時カリキュラムに反映していることは評価に値する。

2 学校運営【学校関係者評価委員の意見・評価】

- ・学校側(教員)が利害関係者への対応に苦心していることが伺える。
難しい課題であり、学生、保護者からの意見の相違などについては即時、教員間で共有し、迅速な対応・対処に努めてもらいたい。
- ・共通のガイドラインを整えてもらいたい。

3 教育活動

【学校関係者評価委員の意見・評価】

- ・教育活動において方針は明確であり、教員の意識統一のさらなる強化を希望する。
- ・各学科共に、企業が求める人材を把握し、ニーズを踏まえたカリキュラムを提供するよう努めてもらいたい。
- ・業界団体に協力を仰ぎ、情報収集・分析を行い、資質向上を念頭に指導にあたってもらいたい。

4 学習成果

【学校関係者評価委員の意見・評価】

- ・学習成果、結果等は常に対比分析を行い、次年度につなげる努力をしてもらいたい。
- ・卒業後のキャリア形成を踏まえ、人材育成に努めてもらいたい。

5 学生支援

【学校関係者評価委員の意見・評価】

- ・学生サポートの支援体制を整え、学習意欲の向上を図るよう努めてもらいたい。
- ・学生の精神的なケアも含めて、健康面でのサポートを今後も図ってもらいたい。
- ・求人先であるサロンや業界関連企業との一層の緊密化を図り、個々の希望が叶うバックアップ体制を強化して欲しい。

6 教育環境

【学校関係者評価委員の意見・評価】

- ・自己点検評価については、十分整っているように思う。
- ・防災について、組織・体制の構築はできているが、想定を上回る災害時にも対応できる体制を整える必要がある。

7 学生の受入れ募集

【学校関係者評価委員の意見・評価】

- ・入学希望者への情報提供という観点から、ホームページなどへの情報開示量をさらに増やす努力をつづけてもらいたい。
- ・高校ガイダンスへの参加や、学校訪問等、高等学校等に対する、情報提供に力を入れている。今後も活動を継続し、本学に対する理解と認知度を高めてもらいたい。

8 財務

【学校関係者評価委員の意見・評価】

- ・財務体制は健全であり、適切かつ適正に会計監査を実施し、行われている。

9 法令等の遵守

【学校関係者評価委員の意見・評価】

- ・関係法令についてコンプライアンスは保たれており、適正な学校運営といえる。
- ・自己点検評価については統一の基準を持ち研鑽し、より精度の高いものになるよう努力して頂きたい。

10 社会貢献・地域貢献

【学校関係者評価委員の意見・評価】

- ・行政や地域との連携は良好であり、長きに渡って維持継続されているようなので、今後も積極的に参加してもらいたい。

3. 学校関係者委員会総括

- ・危機感をもって対応していると感じるが、今後も厳しい状況が続くため、気を引き締めて対応してもらいたい。
- ・企業の求める学生像を認識し、人間教育に努めてほしい。
- ・不要な経費を避けるべきだが、人件費や教育費は削減せず維持し、コンテンツマーケティングを有効に活用し、明るい未来につなげてほしい。
- ・ボランティアなどの社会貢献に多く取り組み、メディアを通じて学校の認知度・イメージアップを図ってほしい。
- ・経済的理由による学生支援の充実をさらに強化してもらいたい。